

	平成 25 年度
事業名	自治会と NPO とのコラボ DE まちづくり推進事業
目的	熊本市は、平成 24 年 4 月に政令市となり、5 つの区が新しく誕生しました。旧熊本市・富合町・植木町・城南町が合併して新たなまちづくりが区を中心に行われようとしています。しかしながら、区内にある NPO の存在は意外と知られていないのが現状です。また、熊本市が進める多様なまちづくりの担い手として、自治会ばかりでなく NPO も期待されるところです。そこで、自治会と NPO・ボランティア団体がそれぞれの特徴を融合し、区や市のまちづくりを協働で取り組むためのきっかけ作りの場を、あいぽーと文化祭で提供します。 それにより、自治会の皆様に自区の市民活動や団体を把握してもらい、ネットワーク作りに役立ててもらいます。
事業期間	平成 25 年 6 月 ～ 平成 25 年 12 月
事業の概要	【事業の概要】 毎年行われている「あいぽーと文化祭」は、各団体がそれぞれの活動を報告し、市民活動や団体に対して理解やネットワーク作りが主な事業内容となっています。今年度は、あいぽーと文化祭もまちづくりの一翼を担うことをスローガンに掲げ区毎にその地区の特産や歴史更に自慢等を替え歌にして、来場者に投票してもらい優秀な作品には、区でとれた特産物を記念として贈呈します。市民の皆様に区の特徴を知ってもらい、誰もが身近な市と思えるようなイベントを企画しました。 1. ワークショップアドバイザー委員 ①事業実施にかかる事業計画及び助言 替え歌大賞の選考及び審査員・記念品選考（特産品等） ②委員構成 各区自治会 5 人 NPO 等 5 団体 ③委員会開催時期 6 月～12 月まで 毎月 1 回程度 2. 各区自慢の替え歌大会 ・区毎にその地区の特産品や歴史文化などの自慢を替え歌にして発表、来場者に投票してもらいます。 ・替え歌大会の周知は、ポスターとチラシ・ホームページ等で行います。 ①日時：11 月中旬～下旬 ②場所：市民活動支援センター・あいぽーと ③替え歌参加者：各区より 3 人（団体）程度（チラシ・ホームページで募集） 3. 事業の成果をとりまとめて報告書を作成・配布 ①配布先：熊本市各区のまちづくり推進室・協議会、コミュニティーセンター等
具体的な事業内容	協働で事業を実施する場合 役割分担が、ハッキリと解るように記入してください。
活動場所	熊本市市民活動支援センター・あいぽーと（熊本市中央区大江 5 丁目 1-1 熊本市総合保健福祉センター ウェルパルクまもと 1 階）
期待される効果	政令市誕生後 1 年を経過したが、市民にとって実感が薄く、身近に感じられとはいえません。今回の事業は、自治会と市民団体とが協力し、自分たちの住んでいる地域の良さをアピールすることを通して、協働関係の構築を図ることが期待できます。また、あいぽーとの存在は、他地区でのまちづくりの手法や情報が集まっていることを周知できる良い機会となり、これからの市民公益活動に関心を寄せてもらう機会となると思われます。

事業の概要を
250 文字程度で
記載してください。

事業収支計画書（平成25年5月 ～ 平成25年12月）

項	目	金	額（円）	内	訳
収 入	自己資金			会費	
				事業収益	
				その他	
	市民公益活動支援助成金	220,000		< A > 当該事業に対する助成希望額	
	その他の補助金・助成金				
	寄附金・協賛金	125,000		個人・団体からの寄付金	
	その他				
	計	345,000		< B >	
支 出	助成対象経費	報償費	150,000	アドバイザー謝金 10人×@2500×6回	
		役務費	20,000	ポスター作成 50枚×@400	
			12,000	用紙・印刷代 20ケース×@600	
		使用料・賃借料	100,000	カラオケセッター式リース代	
		備品費・消耗品費	3,000	事務用品一式	
		旅費	30,000	アドバイザー旅費 10人×6回×@500	
		その他	15,000	記念品（特産品）購入 15団体×@1000	
		小計	330,000	< C >	
	助成対象外経費	飲食費	15,000	イベント当日・アドバイザー及びスタッフ弁当代 30人×@500	
		小計	15,000	< D >	
	計	345,000		< C > + < D > = < B >	

※助成率＝A÷Cが2/3以下であること。